

はじめに

この調査は、内閣府からの委託を受けて、財団法人あしたの日本を創る協会が行ったものです。調査にあたっては、子育て支援に関する研究や実践活動に携わっておられる方々にお願いして、「少子化に対応する地域活動調査委員会」を設け、調査の企画、調査票の設計や調査結果の分析などをお願いしました。

この調査の目的は、(1)子育て中の親の、「子育て観」「必要としている支援策」「地域社会に対する期待と要望」はどのようなものであるのか、(2)地域活動に取り組んでいる人や保育・教育関係者などは、どのような子育て支援活動を行い或いは今後行おうとしているのか、また子育て中の親に対しどのような意見を持っているのか、(3)地域社会が求められている「子育て支援」はどのようなものか、地域社会はどのような「子育て支援活動」ができるのか、などを探ることにあります。

この調査に際しては、子育てや家事、お仕事や活動などに大変お忙しい中にもかかわらず、全国で 18,000 人を超える大勢の方々が快くご協力くださいました。ご協力くださいましたこれらの、子育て真最中の父母の方々、保育・教育関係者の方々、地域活動グループの皆様に対し、心より厚く御礼を申し上げます。

また、この調査の実施に当たりましては、当協会の実践活動団体であります、全国で 1,000 を超える生活学校や生活会議の皆さんが、全国の 18,000 人余の方々に調査へのご協力をお願いし、お引受けくださった方々に直接調査票を配って、調査の趣旨や内容などを説明し、さらに調査票を直接回収するなどして下さいました。

ここに、この調査の実施に際し、ご協力くださいました、調査委員会委員の方々、調査に回答して下さいました大勢の方々や実際に調査を実施して下さいました生活学校・生活会議の皆様に対し、重ねて厚く御礼を申し上げます。

この調査報告を取りまとめるに際しては、質問に対する回答をまとめてグラフ化するほかに、自由回答欄に記入されたご意見を、質問に対する回答だけでは到底収まりきれない切実な声であり、本音であると考え、できる限り収録することにしました。そうしたこともあって、調査結果は、私たち実践活動を行っている者をはじめ関係する人々にとりまして、大変示唆に富むものになっているのではないかと存じます。この調査結果が、今後、子育てに関係する人々をはじめ地域の人々にとりまして、子育てについてさらに相互に理解を深め、地域で人々が互いに支え合いながら子育てをしていけるような活動を展開していく上で少しでもお役に立つことができますならば望外の喜びに存じます。

平成 17 年 3 月

財団法人あしたの日本を創る協会